

パリで夢をぼれて...

JUDITH GODRÈCHE

LA DÉSENCHANTEE

un film de

BENOÎT JACQUOT

C'était l'histoire d'une pute qui se faisait baiser que par derrière, je veux dire allongée sur le ventre, parce qu'elle voulait pas voir qui la baisait... Il y avait une sorte de... un vœu... que si elle se retournait, elle pourrait plus baiser. Son...son truc deviendrait une tombe. Si elle voulait pas se retourner, c'est que pour elle, baiser était une horreur. Alors la tête dans les draps, c'est déjà plus facile...

制作: Michel Hazanavicius 原作: Judith Godrèche 脚本: Benoît Jacquot 監督: Benoît Jacquot 音楽: Philippe Rombaldi 編集: Catherine Schreiber 美術: Jean-Claude Esch 衣装: Catherine Schreiber 録音: Jean-Claude Esch 配給: Arles Cinéma 提供: Arles Cinéma / ジェイ・ブイ・ディー 1990年フランス映画 35mmフィルム カラー 15巻 / 213分 / 1990年18歳以上

デザンジャンテ

監督: 堀内博志 脚本: 堀内博志 音楽: 久石譲 美術: 堀内博志 編集: 堀内博志 録音: 堀内博志 衣装: 堀内博志 提供: アリス・シネマ 1990年フランス映画 35mmフィルム カラー 15巻 / 213分 / 1990年18歳以上

LA DÉSENCHANTEE

C'était l'histoire d'une pute qui se faisait baiser que par derrière, je veux dire... voulait pas voir
qui la baisait... Il y avait une sorte de... un voeu... que si elle se retournait, elle po... trait une tombe.
Si elle voulait pas se retourner, c'est que pour elle, baiser était un horreur... a plus facile...

デザンシャンテ

私の人生のなかで一番大切な愛の映画

——ジュディット・ゴドレーシュ

俊英ブワ・ジャコーが 愛人ジュディット・ゴドレーシュに捧げた訣別のラブレター

F・トリュフォーの「アメリカの夜」で描かれてみたいに、一本の映画が撮り終わるまでには、現場のあちこちで沢山の恋が芽生えるんだって。さすがアムール(愛)の国、フランスらしいエピソードだね。そして女優たちはその恋を肥やしにしてどんどん魅力を開花していくんだからスゴイ!! 古くはロジェ・ヴァディムを巡ってのB・Bやドヌーブたち、最近ではシャルロットやV・パラディなんかもホットな話題を提供してる。そして、その例にもれることなく大きなロマンスとともに生まれたアンファンテリブル(恐るべき子ども)がジュディット

ののだ。ジュディット・ゴドレーシュとブワ・ジャコーは彼の1987年の監督作品「乞食」(日本未公開)で出会い、たちまち激しい恋に落ちてしまう。当時ジュディットは14歳でブワとは27と親子ほども歳が離れていた。しかも、2人が出会うきっかけとなったこの映画の主演はブワの元夫人のドミニク・サンダで、ジュディットは彼女からブワを奪ってしまったのである。このカップルは一大スキャンダルとして世間を騒がせ、特にパリっ子たちの関心は彼女に集中した。そんな世間を煽るように翌年、ジャック・ドワイヨン監督が「15才の少女」の主演に

抜擢、なおかつ脚本にも参加してボーイフレンドの父親を誘惑してしまうという私生活を地で行くような少女を好演。その才能と存在感が大きな話題となり、一躍フランスのトップアイドルとなった(ちょうど今「野性の夜」に主演したロマーヌ・ポーランジェが騒がれているように)。しかし、運命的な2人の恋も4年という年月の中でジュディットが女として、また女優として成長していくうちに陰りを見せはじめ、やがて終焉を迎えることになる。2人が別れる直前に撮影されたこの「デザンシャンテ」は17歳の少女の3日間の物語。このなかで彼女は3人の男性との出会いによって現実に目覚めていく等身大の少女ベットの瑞々しく体現し、その年のセザール賞の若手有望女優賞候補となった。



私たちみたいな女の子のことを“デザンシャンテ”って言うんだって。

人生のカラクリが見えはじめる頃、女の子って「大人ってイヤだな」とか「なんかイイコトないかなあ」なんて言いながら夜が明けるまで街をブラブラしたり、意味もないおしゃべりに興じたり。大人はそんな彼女たちを刹那的だっていうけど違うんだよね。だって本当は新しく何かかたくてウズウズしてるし、何かを探してみようとワクワクしてるんだから……。

思春期から大人の世界への移り変わりの中で、そんな微熱をもった少女たちのことをデザンシャンテって言うんだって!!



Design: Chizuko Ichikawa

12月10日[金]よりレイト・ロードショー CINE VIVANT

連日PM9:10より上映(終映10:40頃)自由席・定員制

*大晦日と正月三ヶ日は休映となります。

特別鑑賞券1,400円 絶賛発売中(当日一般1,700円・学生1,400円の処/税込)

都内各プレイガイド、チケット・セゾン、チケットぴあ、セゾン系劇場にてお求めください。

★劇場窓口にてお買い求めのお客様にはもれなくオリジナル・ポストカードをプレゼント。

シネ・ヴィヴァン・六本木

地下鉄六本木駅下車・1番出口・WAVE地下1階

☎03-3403-6061